2014年3月期　上期決算説明会

丸一鋼管株式会社

会長兼CEO　鈴木博之

Ⅰ. 2014年3月期上期　単体決算概要　・・・　P. 2
Ⅱ. 2014年3月期上期　連結決算概要　・・・　P. 10
Ⅲ. 2014年3月期　業績予想　・・・　P. 20
Ⅳ. 第3次中期経営計画の進捗状況　・・・　P. 26
Ⅴ. 丸一グループの特色　・・・　P. 48

２０１３年１１月１１日

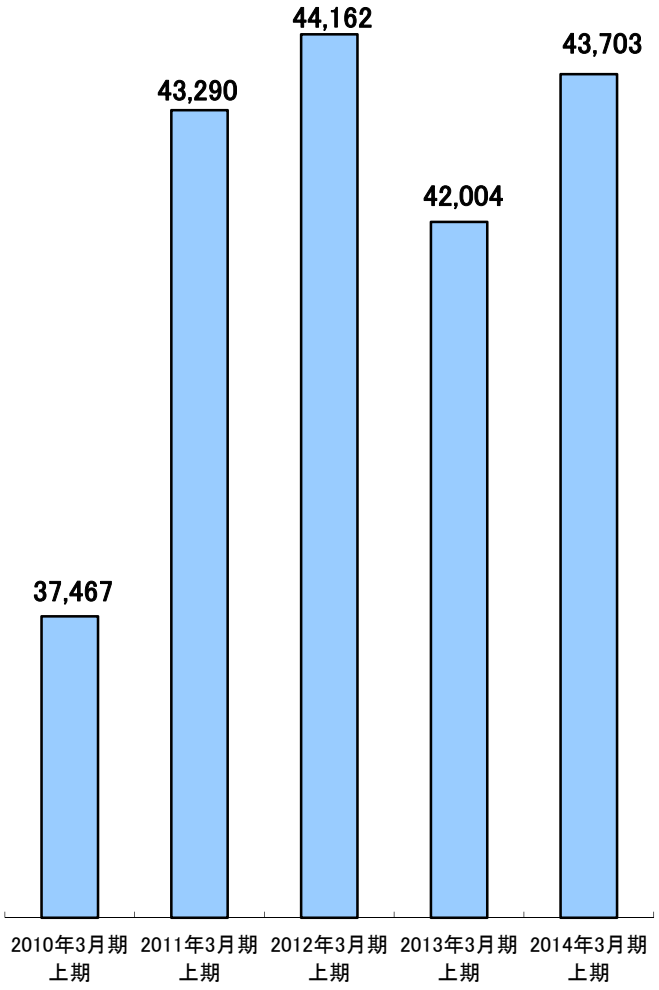
Ⅰ．2014年3月期上期
単体決算概要

単体経営成績

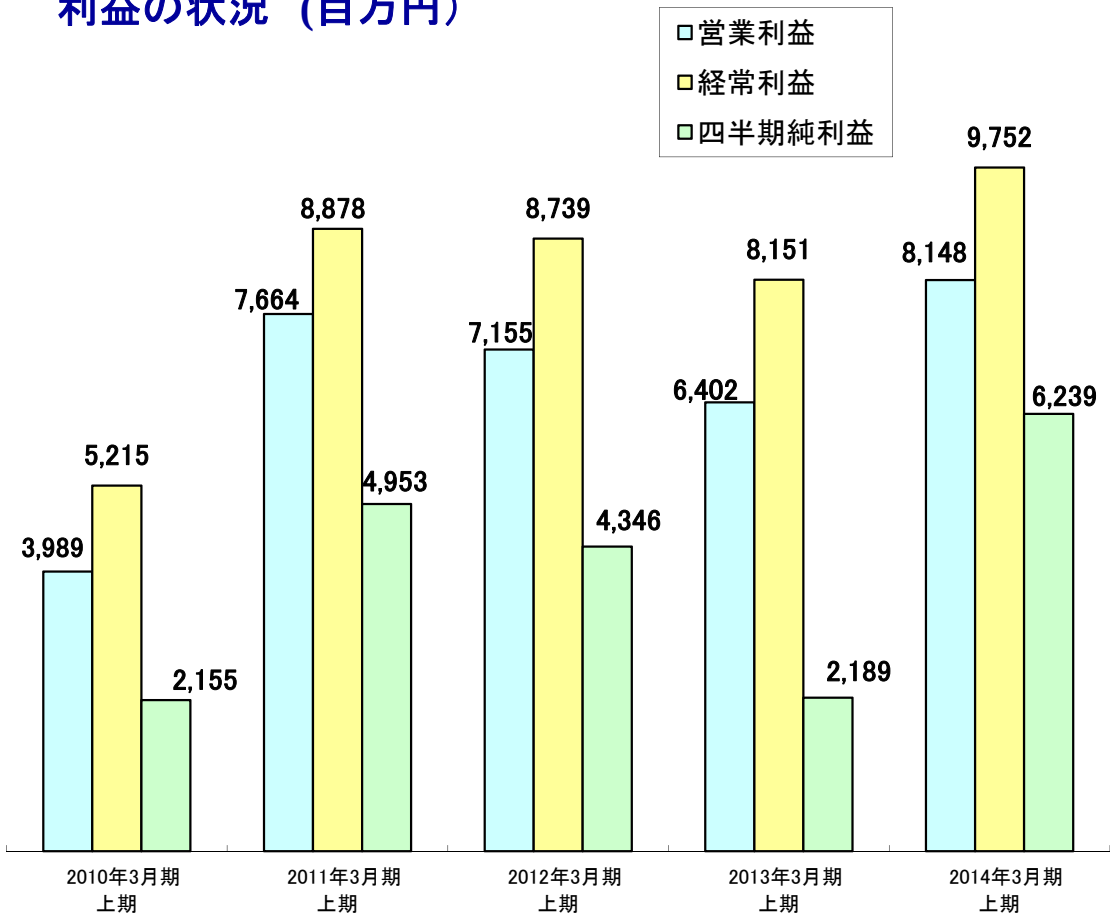
（単位：百万円）

	2013年3月期 上期実績	2014年3月期 上期実績	増減率	5月発表 予想	増減率
売　上　高	42,004	43,703	+4.0%	43,600	+0.2%
営　業　利　益	6,402	8,148	+27.3%	7,400	+10.1%
経　常　利　益	8,151	9,752	+19.6%	8,800	+10.8%
四半期純利益	2,189	6,239	+185.0%	5,500	+13.5%

売上の状況（百万円）



利益の状況（百万円）



単体経営成績　損益計算書

	2010年3月期 上期		2011年3月期 上期		2012年3月期 上期		2013年3月期 上期		2014年3月期 上期	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
売上高	**37,467**	**100.0%**	**43,290**	**100.0%**	**44,162**	**100.0%**	**42,004**	**100.0%**	**43,703**	**100.0%**
売上原価	30,913	82.5%	32,948	76.1%	34,088	77.2%	32,634	77.7%	32,468	74.3%
売上総利益	**6,554**	**17.5%**	**10,341**	**23.9%**	**10,073**	**22.8%**	**9,369**	**22.3%**	**11,235**	**25.7%**
販売費及び一般管理費	2,564	6.8%	2,677	6.2%	2,918	6.6%	2,966	7.1%	3,086	7.1%
営業利益	**3,989**	**10.6%**	**7,664**	**17.7%**	**7,155**	**16.2%**	**6,402**	**15.2%**	**8,148**	**18.6%**
営業外収益	1,511	4.0%	1,512	3.5%	1,888	4.3%	1,976	4.7%	1,817	4.2%
営業外費用	285	0.8%	298	0.7%	304	0.7%	228	0.5%	213	0.5%
経常利益	**5,215**	**13.9%**	**8,878**	**20.5%**	**8,739**	**19.8%**	**8,151**	**19.4%**	**9,752**	**22.3%**
特別利益	158	0.4%	96	0.2%	63	0.1%	334	0.8%	1	0.0%
特別損失	1,079	2.9%	980	2.3%	969	2.2%	5,942	14.1%	54	0.1%
税金等調整前四半期純利益	**4,294**	**11.5%**	**7,994**	**18.5%**	**7,833**	**17.7%**	**2,543**	**6.1%**	**9,699**	**22.2%**
法人税等	2,139	5.7%	3,041	7.0%	3,487	7.9%	354	0.8%	3,460	7.9%
四半期純利益	**2,155**	**5.8%**	**4,953**	**11.4%**	**4,346**	**9.8%**	**2,189**	**5.2%**	**6,239**	14.3%

単体営業成績　損益計算書　売上・利益の増減要因

【単位：億円】

	2013年3月期 上　期	2014年3月期 上　期	差　額
売　上　高	420	437	＋17
営　業　利　益	64	81	＋17
（受取配当金・債券利息等）	14	14	＋0
（丸一インベスト分配金）	2	0	▲2
（その他営業外収益）	4	4	＋0
（営業外費用）	▲2	▲2	＋0
経　常　利　益	82	98	＋16
（有価証券売却益）	3	0	▲3
（その他特別利益）	0	0	▲0
（有価証券売却損）	0	▲0	▲0
（有価証券評価損）	▲59	0	＋59
（その他特別損失）	▲0	▲0	▲0
税金等調整前四半期純利益	25	97	＋72
（法人税等）	▲4	▲35	▲31
四半期純利益	22	62	＋41

・売上高

➢国内パイプ販売数量	＋30.3億円
➢国内パイプ販売単価	▲12.9億円
➢帯鋼(外販)数量	▲0.6億円
➢帯鋼(外販)単価	＋0.6億円
➢輸出パイプ、その他	▲0.4億円

・営業利益

➢総販売数量	＋5.7億円
➢総販売単価	▲13.4億円
➢売上原価	＋24.2億円
➢販売費および一般管理費費	＋0.9億円

・経常利益

➢営業利益より	＋17.5億円
➢受取配当金・債券利息等	▲1.9億円
➢その他営業外収益・営業外費用	＋0.5億円

・税金等調整前四半期純利益

➢経常利益より	＋16.0億円
➢投資有価証券売却損	▲0.1億円
➢投資有価証券評価損	＋59.2億円
➢その他特別利益・特別損失	▲3.5億円

・四半期純利益

➢税金等調整前四半期純利益より	＋71.6億円
➢法人税等	▲31.1億円

単体営業成績　損益計算書　5月開示(予想)との差額主要因

【単位:億円】

	2013年5月9日 開　示	2014年3月期 上期実績	差　額
売　上　高	436	437	＋1
営　業　利　益	74	81	＋7
経　常　利　益	88	98	＋10
税金等調整前 四半期純利益	88	97	＋9
四半期純利益	55	62	＋7

・売上高

➢国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売数量	＋1.8億円
➢国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売単価	▲3.3億円
➢帯鋼販売数量	＋0.6億円
➢帯鋼販売単価	▲0.8億円
➢輸出ﾊﾟｲﾌﾟ	▲0.7億円
➢特品事業部	▲0.3億円
➢関連帯鋼	＋0.1億円
➢機械その他	＋3.7億円

・営業利益

➢全体販売数量要因	＋0.6億円
➢全体販売単価要因	▲2.2億円
➢売上原価	＋5.4億円
➢販売費及び一般管理費	＋3.6億円

・経常利益

➢営業利益より	＋7.5億円
➢受取配当金・有価証券利息等	▲0.0億円
➢その他営業外収益	＋2.0億円
➢営業外費用	＋0.1億円

・税金等調整前四半期純利益

➢経常利益より	＋9.5億円
➢有価証券売却益	＋0.0億円
➢有価証券売却損	▲0.1億円
➢有価証券評価損	＋0.0億円
➢その他	▲0.1億円

・四半期純利益

➢税金等調整前四半期純利益より	＋9.3億円
➢法人税等	▲1.9億円

単体営業成績　貸借対照表　前期対比

【単位：億円】

	2013年3月期 期末	2014年3月期 上期末	差額
流動資産	**807**	**812**	**＋5**
（現金及び預金）	329	355	＋26
（受取手形及び売掛金）	288	264	▲24
（棚卸資産）	94	95	＋1
（その他）	96	98	＋1
固定資産	**1,251**	**1,376**	**＋126**
（有形固定資産）	432	454	＋22
（無形固定資産）	3	2	▲1
（投資その他の資産）	816	921	＋105
資産合計	**2,058**	**2,188**	**＋131**
流動負債	**202**	**226**	**＋23**
（支払手形及び買掛金）	114	122	＋8
（未払法人税等）	20	33	＋13
（その他）	68	71	＋3
固定負債	**38**	**62**	**＋24**
負債合計	**240**	**288**	**＋48**
純資産	**1,818**	**1,901**	**＋83**
（資本金）	96	96	＋0
（資本剰余金）	146	146	＋0
（利益剰余金）	1,738	1,765	＋27
（自己株式）	▲205	▲205	＋0
（その他有価証券評価差額）	42	97	＋55
（新株予約権）	1	1	＋0
負債純資産合計	**2,058**	**2,188**	**＋131**

・流動資産

➢現金及び預金・・・ ＋26.5億円
・税前利益＋97.0億円　・減価償却＋10.4億円 ・設備投資▲30.8億円
・関係会社株式▲26.1億円・株式関連＋0.9億円 ・債券関連+1.0億円
・配当・納税▲54.9億円　・その他＋3.0億円　・休日要因＋26.0億円
➢受取手形及び売掛金・・・ ▲23.7億円
・受取手形 ＋1.9億円　・売掛金▲25.6億円
➢棚卸資産・・・＋1.1億円
・製品＋2.4億円　・原材料▲1.8億円　・貯蔵品＋0.5億円
➢その他・・・ ＋1.2億円
・設備立替金▲1.6億円 ・その他＋2.8億円

・固定資産

➢有形固定資産・・・ ＋21.6億円
・新規投資＋32.0億円　・減価償却　▲10.4億円
➢無形固定資産
・コンピュータシステム償却分　▲1.0億円
➢投資その他の資産・・・ ＋105.1億円
・評価差額＋81.6億円 ・株式関係＋25.2億円・株式評価損＋0.0億円
・債券関係▲1.5億円　・その他▲0.2億円

・流動負債

➢支払手形及び買掛金・・・＋7.8億円
・支払手形　＋0.6億円　・買掛金＋7.2億円
➢その他・・・ ＋15.6億円
・設備関連未払金＋ 2.8億円　・法人税等＋12.8億円

・固定負債

➢固定負債・・・ ＋24.4億円
・長期未払金▲2.9億円 ・繰延税金固定負債　他＋27.3億円

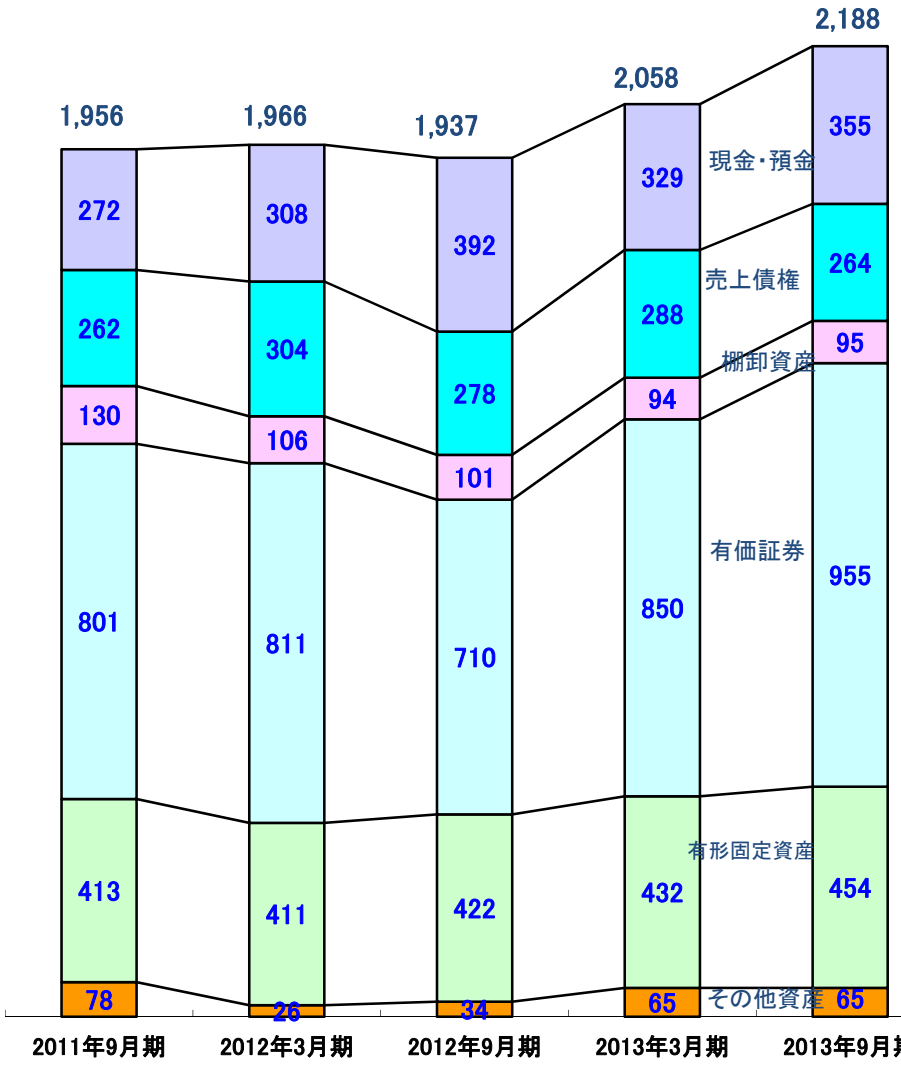
・純資産

➢利益剰余金・・・＋27.2億円
・当期純利益＋62.4億円　・配当金　▲35.2億円
➢自己株式・・・ ＋0.1億円
・ストックオプション行使＋0.1億円
➢その他有価証券評価差額金・・・ ＋55.4億円
・債券▲0.2億円 ・上場株式＋50.7億円 ・海外上場株式＋4.9億円

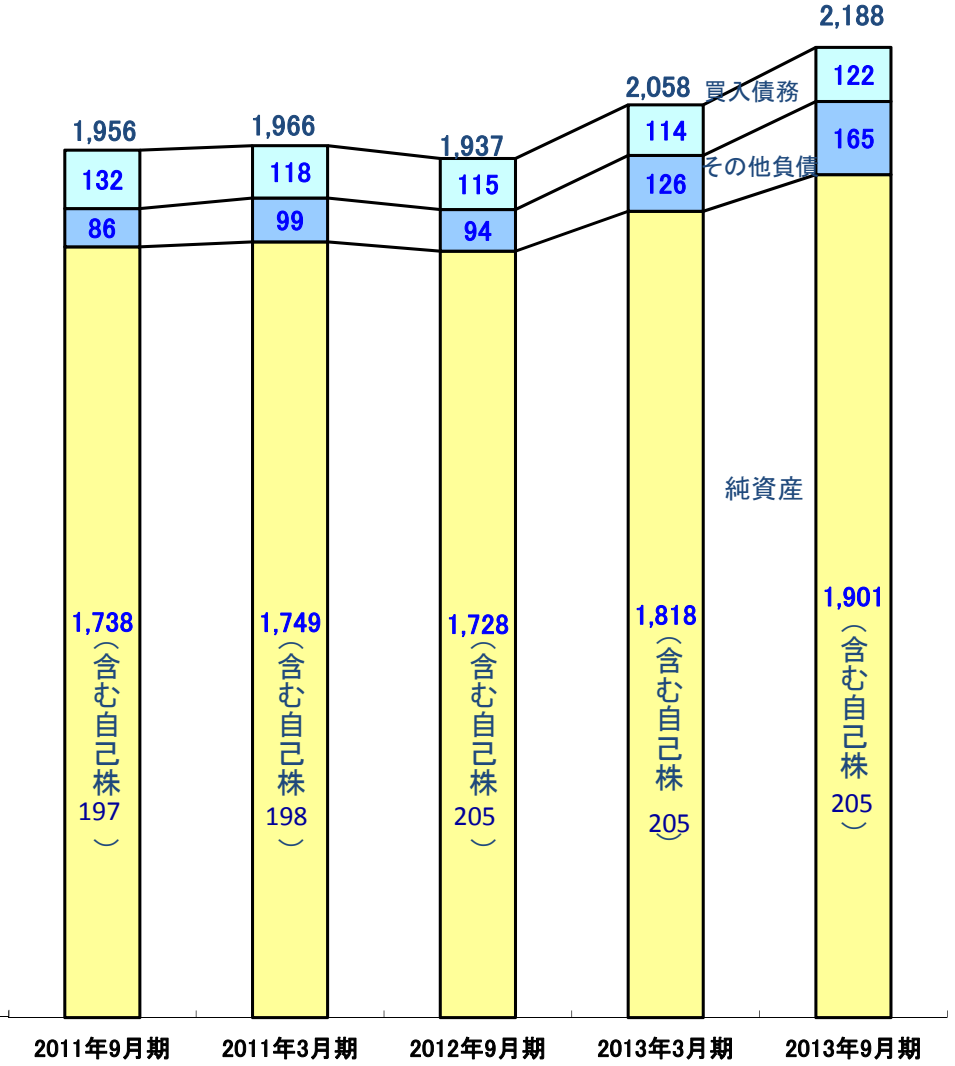
単体営業成績　貸借対照表の推移

【単位：億円】

資産

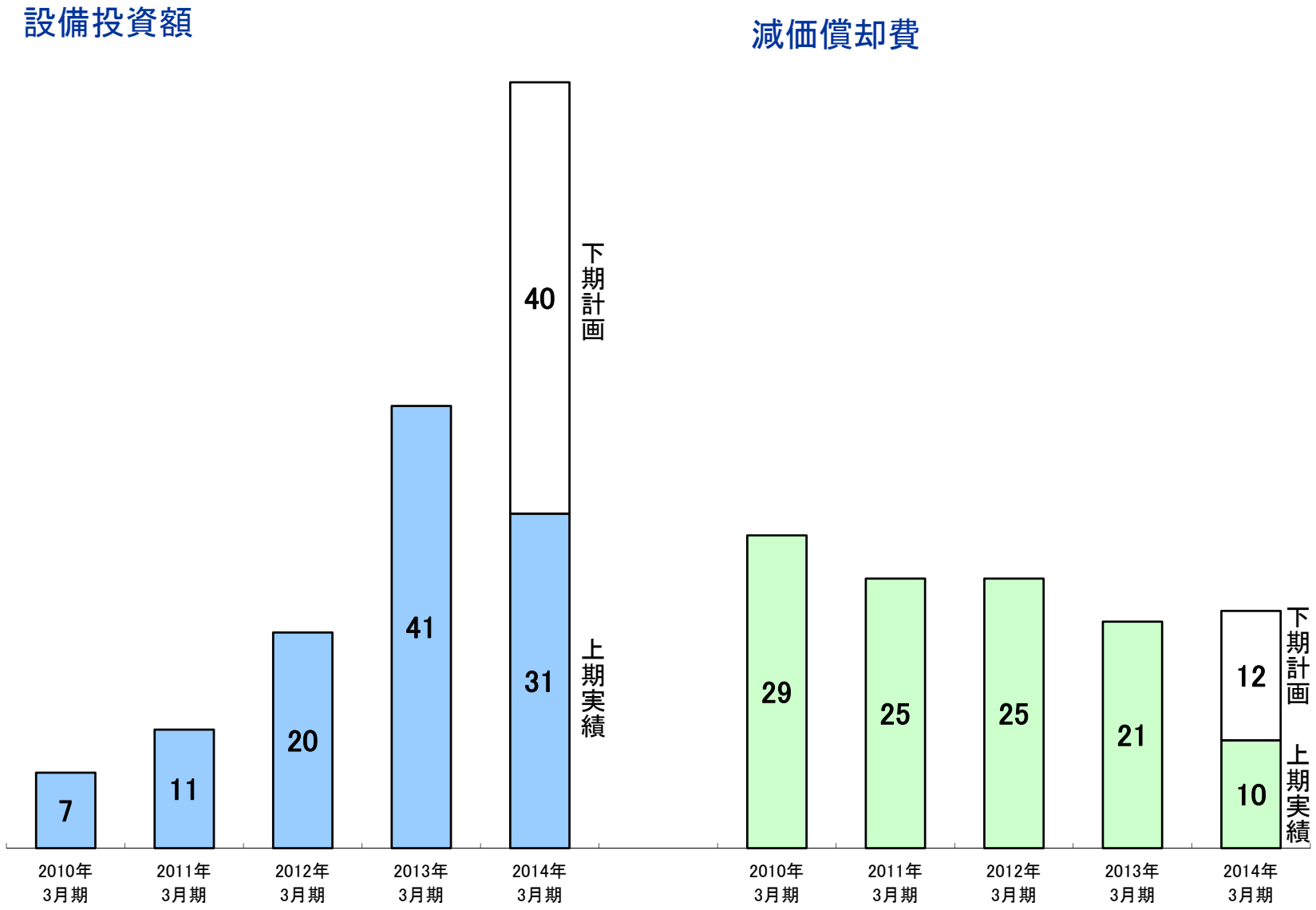


負債・資本



単体営業成績　設備投資額及び減価償却費の推移

【単位：億円】



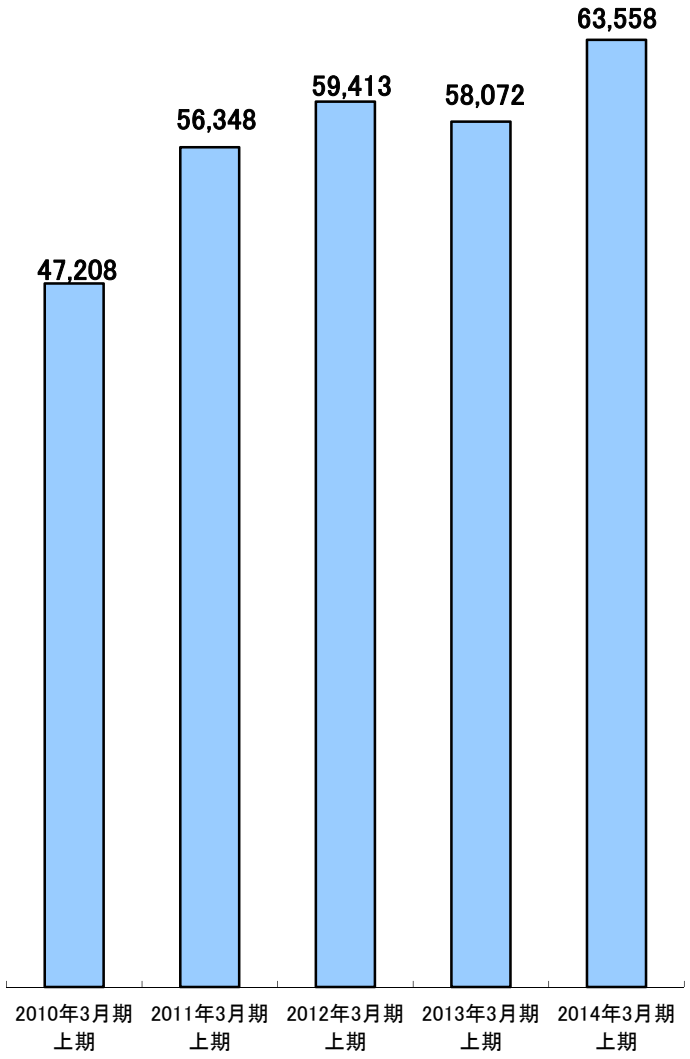
Ⅱ．2014年3月期上期
連結決算概要

連結営業成績

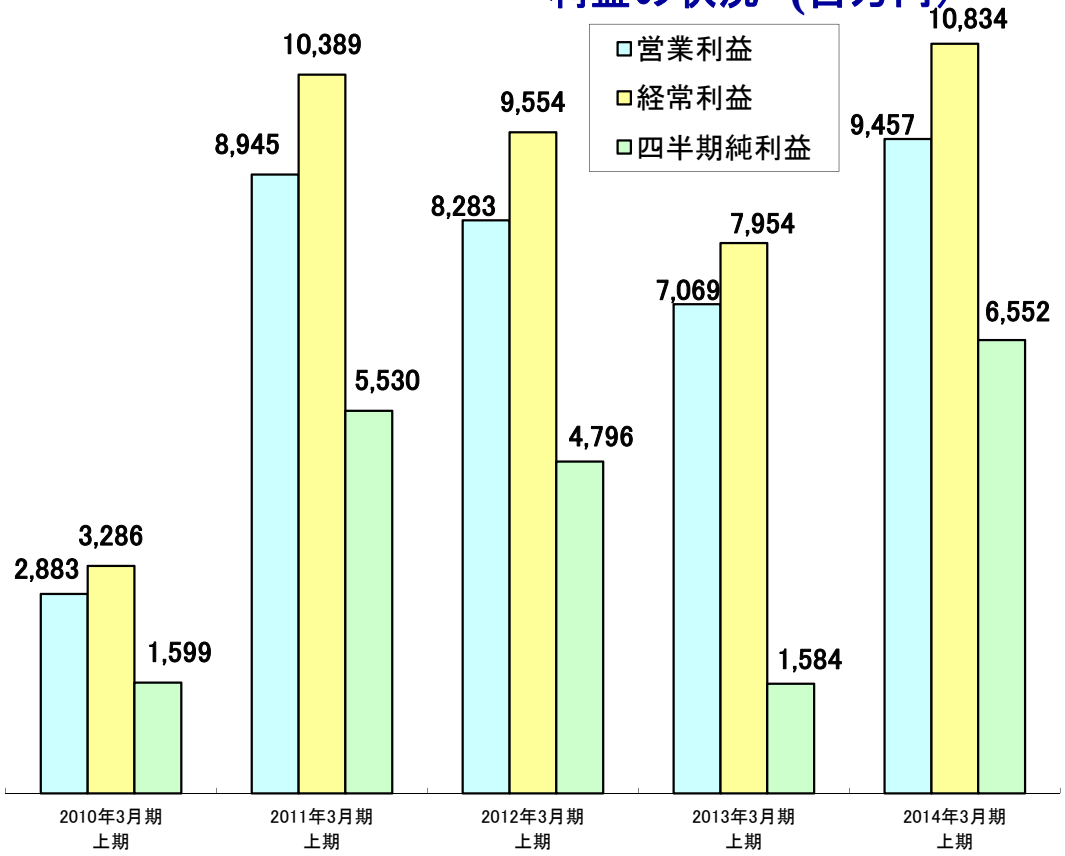
【単位：百万円】

	2013年3月期 上期実績	2014年3月期 上期実績	増減率	5月発表 予想	増減率
売　上　高	58,072	63,558	+9.4%	63,500	+0.1%
営 業 利 益	7,069	9,457	+33.8%	8,500	+11.3%
経 常 利 益	7,954	10,834	+36.2%	10,000	+8.3%
四半期純利益	1,584	6,552	+313.5%	6,100	+7.4%

売上の状況（百万円）



利益の状況（百万円）



連結営業成績　損益計算書

	2010年3月期 上期		2011年3月期 上期		2012年3月期 上期		2013年3月期 上期		2014年3月期 上期	
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）
売上高	**47,208**	**100.0%**	**56,348**	**100.0%**	**59,413**	**100.0%**	**58,072**	**100.0%**	**63,558**	**100.0%**
売上原価	39,679	84.1%	42,384	75.2%	45,772	77.0%	45,788	78.8%	48,434	76.2%
売上総利益	**7,529**	**15.9%**	**13,963**	**24.8%**	**13,640**	**23.0%**	**12,284**	**21.2%**	**15,123**	**23.8%**
販売費及び一般管理費	4,646	9.8%	5,017	8.9%	5,357	9.0%	5,214	9.0%	5,665	8.9%
営業利益	**2,883**	**6.1%**	**8,945**	**15.9%**	**8,283**	**13.9%**	**7,069**	**12.2%**	**9,457**	**14.9%**
営業外収益	1,586	3.4%	2,089	3.7%	1,933	3.3%	1,190	2.0%	1,683	2.6%
営業外費用	1,183	2.5%	645	1.1%	661	1.1%	305	0.5%	306	0.5%
経常利益	**3,286**	**7.0%**	**10,389**	**18.4%**	**9,554**	**16.1%**	**7,954**	**13.7%**	**10,834**	**17.0%**
特別利益	290	0.6%	1,810	3.2%	993	1.7%	334	0.6%	2	0.0%
特別損失	279	0.6%	983	1.7%	1,007	1.7%	5,945	10.2%	55	0.1%
税金等調整前四半期純利益	**3,297**	**7.0%**	**11,216**	**19.9%**	**9,541**	**16.1%**	**2,343**	**4.0%**	**10,781**	**17.0%**
法人税等	1,789	3.8%	4,695	8.3%	4,390	7.4%	702	1.2%	3,981	6.3%
少数株主利益	▲91	▲0.2%	990	1.8%	353	0.6%	56	0.1%	246	0.4%
四半期純利益	**1,599**	**3.4%**	**5,530**	**9.8%**	**4,796**	**8.1%**	**1,584**	**2.7%**	**6,552**	**10.3%**

連結営業成績　損益計算書　売上・利益の増減要因

【単位：億円】

	2013年3月期 上期	2014年3月期 上期	差額
売上高	581	636	＋55
営業利益	71	95	＋24
（受取配当金・債券利息等）	8	7	▲1
（持分法による投資利益）	1	1	＋0
（為替差益）	0	5	＋5
（その他営業収入）	3	3	＋0
（支払利息）	▲1	▲1	＋0
（その他営業外費用）	▲2	▲2	▲0
経常利益	80	108	＋29
（投資有価証券売却益）	3	0	▲3
（その他特別利益）	0	0	▲0
（投資有価証券売却損）	0	▲0	▲0
（投資有価証券評価損）	▲59	0	＋59
（その他特別損失）	▲0	▲0	▲0
税金等調整前四半期純利益	23	108	＋84
（法人税等）	▲7	▲40	▲33
（少数株主利益）	▲1	▲2	▲2
四半期純利益	16	66	＋50

・売上高

➢単体要因	＋17.0億円
➢MAC	＋1.8億円
➢MKK USA INC.	＋8.6億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	＋23.5億円
➢KUMA	＋2.9億円
➢その他国内子会社	＋3.4億円
➢連結消去・組換仕訳	▲2.3億円

・営業利益

➢単体要因	＋17.5億円
➢MAC	▲0.6億円
➢MKK USA INC.	▲0.7億円
➢SUNSCO（含Hanoi）	＋1.4億円
➢KUMA	＋0.0億円
➢アルファメタル	▲0.6億円
➢その他国内子会社	＋2.2億円
➢連結消去・組換仕訳	＋4.7億円

・経常利益

➢営業利益より	＋23.9億円
➢持分法投資損利益	＋0.5億円
（セイケイ＋1.0億円 ・ウィニング▲0.8億円 ・MMP＋0.2億円 ・I STW0.1億円）	
➢その他	＋4.5億円

・税金等調整前四半期純利益

➢経常利益より	＋28.8億円
➢投資有価証券売却損益	▲3.4億円
➢投資有価証券評価損 （単体要因）	＋59.2億円
➢その他	▲0.2億円

・四半期純利益

➢税金等調整前四半期純利益より	＋84.4億円
➢法人税等・少数株主利益	▲34.7億円

連結営業成績　損益計算書　5月開示(予想)との差額主要因

【単位:億円】

	2013年5月9日開示	2014年3月期上期実績	差額
売上高	635	636	＋1
営業利益	85	95	＋10
経常利益	100	108	＋8
四半期純利益	61	66	＋5

・売上高

➢単体要因	＋1.0億円
➢MAC	▲1.3億円
➢MKK USA INC.	＋2.2億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	▲2.2億円
➢KUMA	＋1.8億円
➢アルファメタル	＋0.6億円
➢丸一鋼板	▲0.4億円
➢連結調整(子会社向け機械売上他)	▲1.2億円

・営業利益

➢丸一単体要因	＋7.5億円
➢海外子会社	▲3.2億円
➢国内子会社	▲1.1億円
➢連結調整	＋6.5億円

・経常利益

➢丸一単体要因	＋9.5億円
➢海外子会社	▲1.1億円
➢国内子会社	＋0.1億円
➢持分法適用関連会社	▲0.1億円
➢連結調整	▲0.3億円

・四半期純利益

➢丸一単体要因	＋7.4億円
➢海外子会社	＋3.2億円
➢国内子会社	＋1.3億円
➢持分法適用関連会社	▲0.1億円
➢連結調整	▲7.3億円

連結営業成績　主要会社5月開示（予想）と実績との差額

【単位：億円】

2013年5月　開示上期予想

	売上高	営業利益	経常利益	最終利益
丸一鋼管	436	74	88	55
MAC	34	2	2	1
MKK USA	50	▲1	▲1	▲1
SUNSCO（含Hanoi）	88	2	6	3
KUMA	13	2	2	1
アルファメタル	23	1	1	0
その他国内子会社	10	6	9	6
持分法適用関連会社			1	1
のれん代		▲0		
連結調整	▲19	▲1	▲8	▲5
合計	635	85	100	61

2014年3月期　上期実績

	売上高	差額	営業利益	差額	経常利益	差額	最終利益	差額
丸一鋼管	437	1	82	7	98	10	62	7
MAC	33	▲1	2	▲0	2	▲0	1	0
MKK USA	52	2	▲2	▲0	▲2	▲1	▲1	▲0
SUNSCO（含Hanoi）	85	▲2	0	▲2	7	1	7	4
KUMA	15	2	1	▲0	0	▲2	0	▲0
アルファメタル	24	0	0	0	0	0	0	0
その他国内子会社	10	▲0	6	▲1	10	1	7	1
持分法適用関連会社					2	▲1	2	▲0
のれん代			▲0	0				
連結調整	▲21	▲1	6	6	▲9	▲0	▲13	▲7
合計	635	1	95	10	108	8	65	5

連結営業成績　貸借対照表　前期対比

【単位：億円】

	2013年3月期 期末	2014年3月期 上期末	差額
流動資産	**1,299**	**1,387**	**＋88**
（現金及び預金）	566	623	＋57
（受取手形及び売掛金）	293	300	＋7
（棚卸資産）	214	222	＋7
（その他）	225	242	＋17
固定資産	**1,414**	**1,557**	**＋143**
（有形固定資産）	754	816	＋62
（無形固定資産）	15	18	＋3
（投資その他の資産）	645	723	＋78
資産合計	**2,712**	**2,944**	**＋231**
流動負債	**303**	**387**	**＋85**
（支払手形及び買掛金）	137	204	＋66
（短期借入金）	58	63	＋5
（未払法人税等）	23	36	＋13
（その他）	84	85	＋1
固定負債	**157**	**196**	**＋39**
負債合計	**460**	**583**	**＋123**
純資産	**2,253**	**2,361**	**＋108**
（資本金）	96	96	＋0
（資本剰余金）	158	158	＋0
（利益剰余金）	2,119	2,149	＋30
（自己株式）	▲205	▲205	＋0
（その他有価証券評価差額）	54	103	＋49
（為替調整勘定）	▲56	▲35	＋21
（新株予約権）	1	1	＋0
（少数株主持分）	86	93	＋7
負債純資産合計	**2,712**	**2,944**	**＋231**

・流動資産

- 現金及び預金・・・＋57億円
  ・国内＋43億円 ・海外＋12億円 ・連結調整＋2億円
- 受取手形及び売掛金・・・＋7億円
  ・国内▲26億円 ・海外＋8億円 ・連結調整＋25億円
- 棚卸資産・・・＋7億円
  ・国内＋1億円 ・海外＋7億円 ・連結調整▲1億円
- その他・・・＋17億円
  ・子会社NCD＋18億円 ・その他▲3億円 ・連結調整＋1億円

・固定資産

- 有形固定資産・・・＋62億円
  ・国内＋21億円 ・海外＋44億円 ・連結調整▲4億円
- 無形固定資産・・・ ＋3億円
  ・丸一▲1億円 ・子会社＋1億円 ・連結調整＋3億円
- 投資その他の資産・・・＋78億円
  ・国内＋105億円 ・海外＋4億円 ・連結調整▲30億円

・流動負債

- 支払手形及び買掛金・・・ ＋66億円
  ・国内＋38億円 ・海外＋3億円 ・連結調整＋26億円
- 短期借入金・・・＋5億円
  ・国内▲0億円 ・海外＋6億円
- その他 ・・・＋14億円
  ・丸一＋16億円 ・子会社＋3億円 ・連結調整▲5億円

・固定負債

- 固定負債・・・＋39億円
  ・国内＋23億円 ・海外＋15億円 ・連結調整＋0億円

・純資産

- 利益剰余金・・・＋30億円
  ・国内＋25億円 ・海外＋5億円 ・連結調整▲0億円
- その他有価証券評価差額金・・・＋49億円
  ・丸一＋55億円 ・連結調整▲6億円

連結経営成績　セグメント別

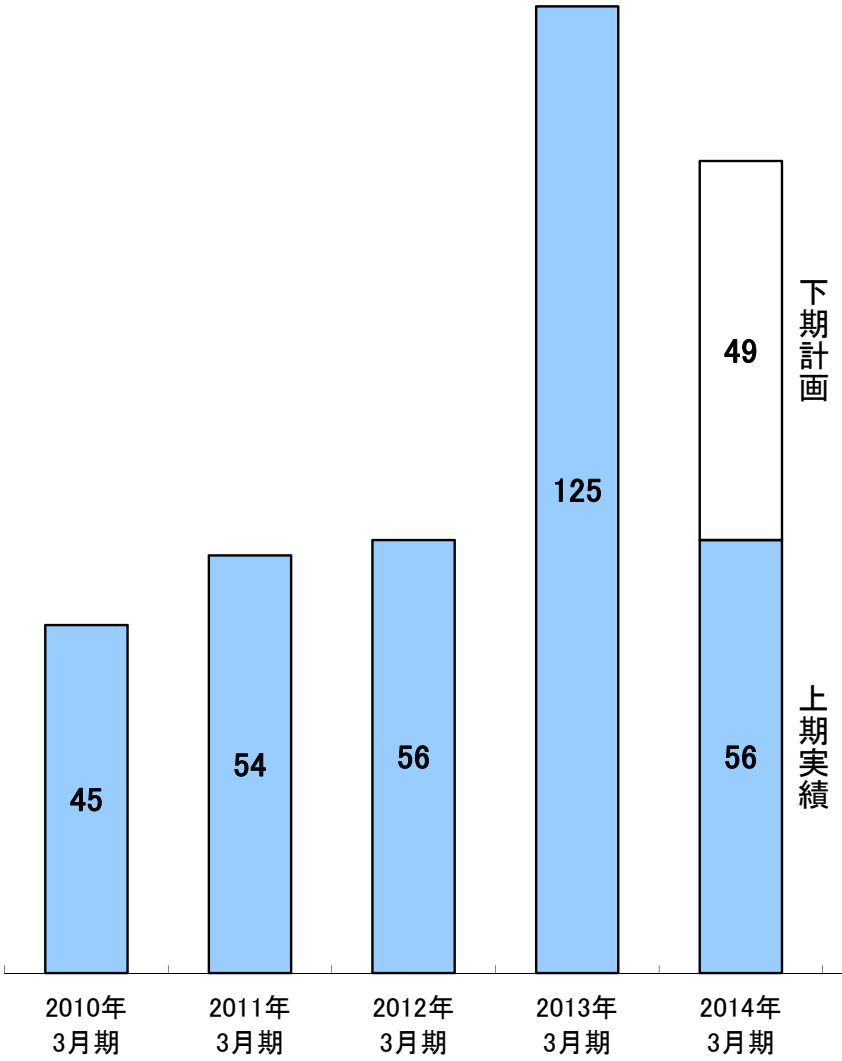
【単位：百万円】

	2013年3月期上期				2014年3月期上期			
	売上高	比率	営業利益	比率	売上高	比率	営業利益	比率
日　　本	43,304	74.6%	6,886	97.4%	45,340	71.3%	9,160	96.9%
北　　米	7,428	12.8%	131	1.9%	8,430	13.3%	▲16	▲0.2%
ア　ジ　ア	7,389	12.7%	53	0.7%	9,870	15.5%	317	3.3%
調　整　額	▲49	▲0.1%	▲2	0.0%	▲82	▲0.1%	▲2	0.0%
合　　計	58,072	100.0%	7,069	100.0%	63,558	100.0%	9,457	100.0%

連結営業成績　設備投資額及び減価償却費の推移

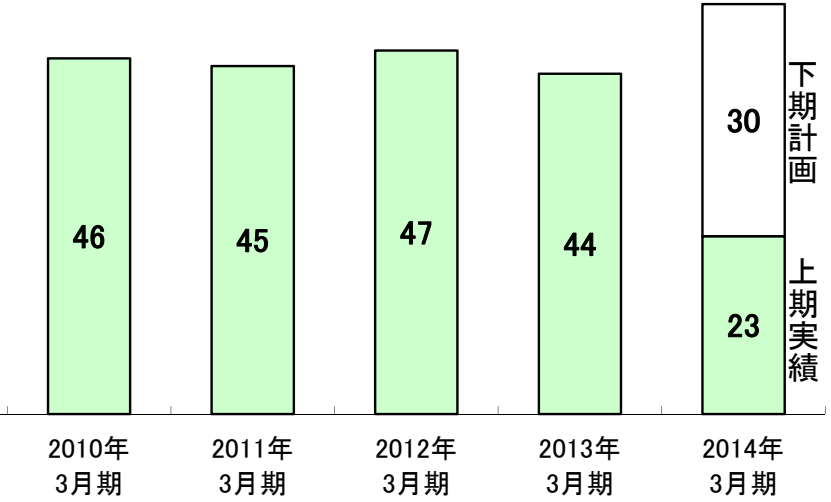
設備投資額

【単位：億円】

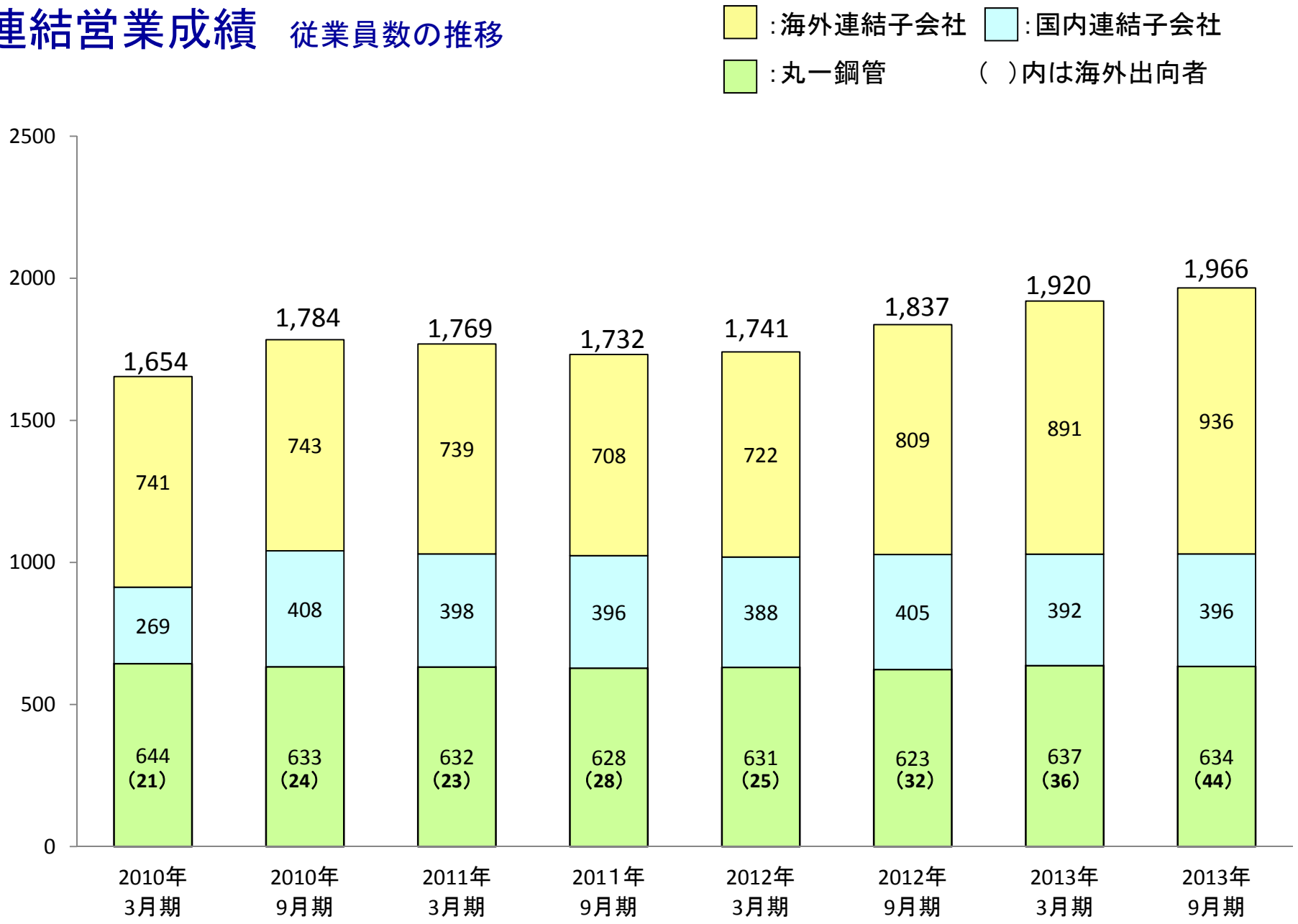


減価償却費

【単位：億円】

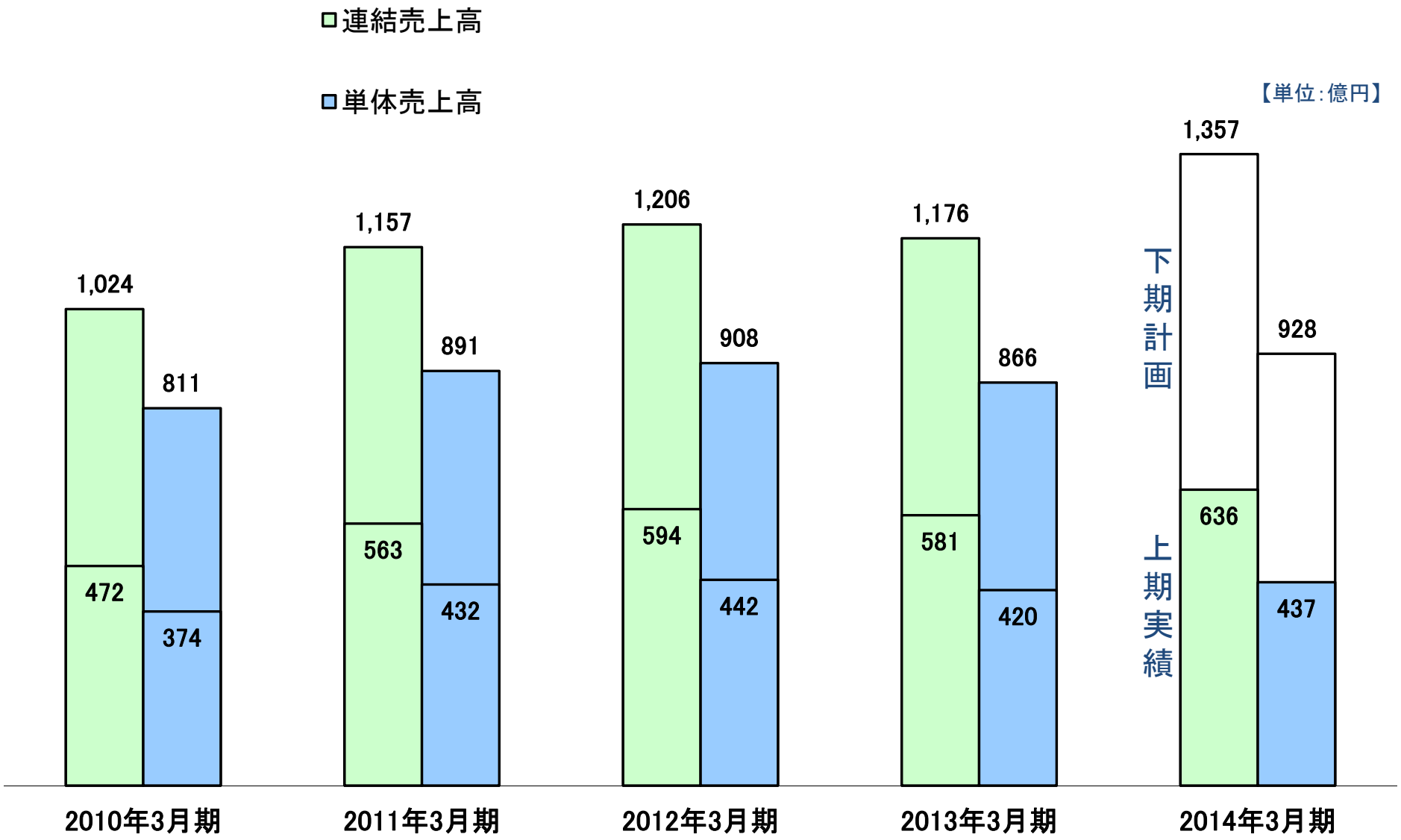


連結営業成績　従業員数の推移



Ⅲ. 2014年3月期
業績予想

連結及び単体売上高予想



連結及び単体利益予想

連結決算予想

【単位：百万円】

	2014年3月期				2013年3月期 実績	通期予想対前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	63,558	72,141	135,700		117,688	15.3%
営業利益	9,457	9,542	19,000	14.0%	15,412	23.3%
経常利益	10,834	9,866	20,700	15.3%	17,553	17.9%
当期純利益	6,552	5,547	12,100	8.9%	10,617	14.0%

単体決算予想

	2014年3月期				2013年3月期 実績	通期予想対前年実績比
	上期実績	下期予想	通期予想	売上利益率		
売上高	43,703	49,096	92,800		86,653	7.1%
営業利益	8,148	8,051	16,200	17.5%	14,228	13.9%
経常利益	9,752	8,547	18,300	19.7%	16,720	9.4%
当期純利益	6,239	5,060	11,300	12.2%	9,717	16.3%

連結営業成績　主要会社5月開示（予想）と11月開示（予想）との差額

【単位：億円】

2013年5月開示　通期予想

	売上高	営業利益	経常利益	最終利益
丸一鋼管	900	148	168	102
MAC	63	3	4	1
MKK USA	113	▲1	▲1	▲1
SUNSCO（含Hanoi）	235	7	10	5
KUMA	27	4	4	2
アルファメタル	47	2	2	1
その他国内子会社	21	13	15	9
持分法適用関連会社			5	5
のれん代		▲1		
連結調整	▲46	▲1	▲12	▲7
合計	1,360	174	195	117

今回開示　通期予想

	売上高		営業利益		経常利益		最終利益	
		差額		差額		差額		差額
丸一鋼管	928	28	162	14	183	15	113	11
MAC	63	▲1	3	▲0	3	▲0	2	1
MKK USA	116	3	▲0	1	▲0	1	▲1	0
SUNSCO（含Hanoi）	200	▲34	5	▲3	10	0	7	2
KUMA	29	2	3	▲0	2	▲1	2	▲0
アルファメタル	46	▲1	0	▲1	1	▲1	0	▲0
その他国内子会社	19	▲1	12	▲1	16	0	11	2
持分法適用関連会社					4	▲1	4	▲1
のれん代			▲1	▲0				
連結調整	▲44	1	6	6	▲12	▲1	▲17	▲11
合計	1,357	▲3	190	16	207	12	121	4

通期連結損益予想　5月開示との差額主要因

【単位:億円】

	2013年5月9日発表	今回見直し	差額
売上高	1,360	1,357	▲3
営業利益	174	190	+16
経常利益	195	207	+12
当期純利益	117	121	+4

➢丸一鋼管	＋28.0億円
➢MAC	▲0.5億円
➢MKK　USA　INC	＋2.5億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	▲34.1億円
➢KUMA	＋1.8億円
➢アルファメタル	▲1.0億円
➢丸一鋼板	▲1.0億円
➢連結調整(機械売上・関連帯鋼が主体)	＋1.3億円

➢丸一鋼管	＋14.0億円
➢MAC	▲0.1億円
➢MKK　USA　INC	＋0.8億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	▲2.7億円
➢KUMA	▲0.3億円
➢アルファメタル	▲1.5億円
➢その他国内子会社	▲0.5億円
➢のれん	▲0.3億円
➢連結調整	＋6.7億円

➢丸一鋼管	＋15.0億円
➢MAC	▲0.0億円
➢MKK　USA　INC	＋0.6億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	＋0.3億円
➢KUMA	▲1.3億円
➢アルファメタル	▲1.2億円
➢その他国内子会社	＋0.5億円
➢持分法適用関連会社	▲1.1億円
➢連結調整	▲0.7億円

➢丸一鋼管	＋11.0億円
➢MAC	＋0.8億円
➢MKK　USA　INC	＋0.3億円
➢SUNSCO(含Hanoi)	＋2.3億円
➢KUMA	▲0.1億円
➢アルファメタル	▲0.4億円
➢その他国内子会社	＋1.6億円
➢持分法適用関連会社	▲1.1億円
➢連結調整	▲10.4億円

通期単体損益予想　5月開示との差額主要因

【単位：億円】

	2013年5月9日 発表	今回 見直し	差額
売上高	900	928	+28
営業利益	148	162	+14
経常利益	168	183	+15
当期純利益	164	179	+15
当期純利益	102	113	+11

- ➢国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売数量　＋16.9億円
- ➢国内ﾊﾟｲﾌﾟ販売単価　＋3.0億円
- ➢帯鋼販売数量　＋2.9億円
- ➢帯鋼販売単価　▲0.2億円
- ➢輸出ﾊﾟｲﾌﾟ　＋2.2億円
- ➢特品事業部　＋0.8億円
- ➢関連帯鋼　▲3.4億円
- ➢子会社向け機械売上･その他　＋5.9億円

- ➢全体販売数量　＋4.7億円
- ➢全体販売単価　＋1.2億円
- ➢売上原価　▲1.2億円
- ➢販売費及び一般管理費　＋9.4億円

- ➢営業利益より　＋14.0億円
- ➢受取配当金･有価証券利息等　＋0.6億円
- ➢その他営業外収益　＋0.6億円
- ➢営業外費用　▲0.3億円

- ➢経常利益より　＋15.0億円
- ➢有価証券売却損　▲0.1億円
- ➢有価証券評価損　＋0.0億円
- ➢その他　▲0.1億円

- ➢税引前利益より　＋14.8億円
- ➢法人税等　▲3.8億円

Ⅳ. 第3次中期経営計画の進捗状況

【第3次中期経営計画の目標】（連結ベース）

（億円）

第3次計画 実績・見込	2011年度 実績	2012年度 実績	2013年度 予想	2014年度 目標
売上高	1,206	1,176	1,357	1,600
（同海外比率）	(22.1%)	(25.0%)	(30.1%)	(35.0%)
営業利益	156	154	190	200
（同海外比率）	(3.8%)	(0.6%)	(5.6%)	(20.0%)
経常利益	176	175	207	220
純利益	74	106	121	120

第3次中期経営計画の4つの主要施策

1）国内事業の更なる効率化推進

①国内生産体制の再構築
②国内営業体制の強化
③新規分野の展開
④省エネ・CO2排出量削減、災害に強い体制の構築

2）海外売上の拡大と収益力の強化

①高成長が期待できるｱｼﾞｱ地区への投資の集中
②海外生産ｼﾌﾄが本格化する自動車分野の強化
③ｴﾈﾙｷﾞｰ関連製品の生産開始により、海外売上の拡大と収益力の強化

3）海外人材の早期育成 （グローバル化の基礎づくり）

①本格化する海外展開に対応した人材の早期育成
②現地人材の早期育成

4）株主重視の資本政策の継続

高い株主還元率の維持

【東京第二工場】

①ステンレス鋼管事業への進出

2011年4月　ステンレス造管ライン完成

ステンレス鋼管のマザーラインとして海外事業を支援



ステンレス造管ライン

②東京工場・移転プロジェクト

東京外かく環状道路事業により、
東京工場の一部が収用されることから、東京第二工場へ集約

2014年3月　集約完了

現・東京工場建屋面積 総合計：12,700㎡	→ 約1.4倍	新工場建屋面積 18,081㎡



新第3製管工場（外観）



新第3製管工場

【東京第二工場】移転プロジェクト

投資額　　：58億円
・工場収容関連工事（工場建屋・厚生棟・造管機5機・スリッター）：52億円
・福利厚生関連工事（寮・社宅）：6億円

進捗状況：	2013年	7月	新第3製管建屋・厚生棟完成
		9月	スリッター　稼働開始
		10月	8・9号機　稼働開始
		11月	5号機　稼働開始
今後の予定：	2013年	12月	6号機　稼働予定
	2014年	2月	7号機　稼働予定
		2月	社宅　竣工予定



5号機



8号機



9号機



スリッター

【国内工場】太陽光発電事業計画概要

設　置　拠　点　：　国内工場 6拠点（表参照）
投　　資　　額　：　17億円
発 電 量 合 計　：　6,986．5キロワット
予想年間発電量合計　：　約 670万キロワットアワー
完　成　時　期　：　2014年中に全て完成予定



新第3製管工場屋根　太陽光パネル

設置拠点	詫間工場	堺工場 第6工場	セイケイ	東京第2工場 新第3製管工場	東京第2工場 第3倉庫	名古屋工場	合計
発電タイプ	地上	工場棟屋根	工場棟屋根	工場棟屋根	工場棟屋根	工場棟屋根	—
パネル数	240w×8,400枚	240w×3,056枚	240w×3,744枚	245w×6,160枚	245w×3,416枚	245w×4,176枚	240w×15,200枚 245w×13,752枚
パワーコンディショナー	500kw×4台	500kw×1台 250kw×1台	500kw×1台 250kw×1台	500kw×3台	250kw×3台	500kw×2台	500kw×11台 250kw×5台
最大出力	2,016.0kW	734.0kW	898.0kW	1,478.4kW	837.0kW	1,023.1kW	6,986.5kW
予想年間発電量	2190.4MwH	730.0MwH	920.0MwH	1,382.3MwH	738.4MwH	783.3MwH	6,744.4MwH
売電開始時期	2013年4月	2013年7月		2013年11月	2014年中に完成予定		—

【国内工場】 太陽光発電事業・4工場で売電開始

	詫間工場	堺工場・セイケイ	東京第二工場 新第3製管
所在地	香川県三豊市	大阪府堺市	千葉県市川市
投資額	5億3,000万円	3億6,000万円	3億3,000万円
売電開始	2013年4月	2013年7月	2013年11月
売電先	四国電力	関西電力	東京電力

※詫間工場：パネル設置工事に使用した鋼材量約150トンは全て自社製の鋼管を使用

□・・・太陽光パネル



詫間工場



堺工場・セイケイ（左）



東京第二工場

【国内工場】 太陽光発電事業・利益の状況

	詫間工場 （2013年4月～9月）	堺工場・セイケイ （2013年7月～9月）	合計
発電量	1,706,920kWh	618,520kWh	2,325,440kWh
売電収入	6,828万円	2,474万円	9,302万円
経費	3,302万円	1,120万円	4,422万円
（内：償却費）	3,281万円	1,080万円	4,361万円
利益	3,526万円	1,354万円	4,880万円



詫間工場・太陽光パネル



堺第6工場屋根　太陽光パネル



2013年7月　堺工場
太陽光発電セレモニー

【アルファメタル社】

設　　立　　：2002年9月1日
所 在 地　　：福岡県宮若市稲光850番地
事業内容　　：自動車部品及び
　　太陽光発電架台等製作・販売
資 本 金　　：3億円
従 業 員　　：140名
敷地面積　　：32,788．13m²
建物面積　　：7,590m²



アルファメタル社外観


太陽光発電架台施工事例

【業績の推移】

（百万円）

	売上高	経常利益
2010年3月	4,149	▲3
2011年3月	4,569	76
2012年3月	4,848	115
2013年3月	5,051	134
2014年3月（予想）	4,669	179

【株主の状況】

（単位：株）

	2009年 増資前	2010年 3月増資後	2010年 3月末	2010年 6月増資後	2012年 3月末
丸一鋼管	80	80	80	80	80
九州丸一鋼管	0	1,170	1,245	5,245	5,530
メタルワン	40	40	390	390	390
個人	280	710	285	285	0
合計	400	2,000	2,000	6,000	6,000
資本金	2,000万円	1億円	1億円	3億円	3億円

【ベトナム】 SUNSCO社の第2CGL/CCLの概要

設備内容 ： ・第2連続溶融亜鉛めっきライン（第2CGL）

2013年8月　商業運転開始

板巾：MAX4’、板厚：0．3～3．2mm、能力：約2万トン／月

※品質対策を強化し、更に幅広い需要に対応

・第2カラー鋼板ライン（第2CCL）

2013年6月　商業運転開始

板巾：MAX4‘、板厚：0．2～1．2mm、能力：約8千トン／月

総工費　　：US100百万ドル

資金調達　：借入金 US80百万ドル、自己資金 US20百万ドル

移設・改修工事を予定
2014年1月(予定）　2インチミル
2014年4月（予定）　4インチミル

品質の向上

機械構造用鋼管
配管用鋼管
一般構造用鋼管

※投資金額 ： US8百万ドル

※2013年12月に、現地で第2CGL/CCL完成披露を開催予定



第2CGL/CCL建屋工事



第2CGL ロールコーター・ルーパー



第2CCL　入り側ルーパー

【ベトナム】 SUNSCO社　鋼管・鋼板事業の大幅な拡大

【SUNSCO社　業績の推移】

（単位：百万US＄）

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	165	▲ 25	▲ 30
2009年12月	117	1	0
2010年12月	158	4	0
2011年12月	174	▲ 4	▲ 4
2012年12月	156	▲ 3	1
2013年12月　見込	194	1	3
1 ～ 6月　実績	81	▲ 1	4
7～12月　見込	113	2	▲ 1

【SUNSCOハノイ社　業績の推移】

（単位：百万US＄）

	売上高	営業利益	当期税前利益
2012年12月	4	▲ 1	0
2013年12月　見込	14	3	3
1 ～ 6月　実績	7	2	2
7～12月　予想	7	1	1

【資本金及び持株状況の推移】

2010年2月　材料安定供給先のJFEスチールが株主（8%）

	日本側				台湾側	資本金	備考
		丸一鋼管	豊田通商	JFEスチール		（単位：百万US$）	
2006年8月	9.0%	0.0%	9.0%	－	91.0%	41.9	
2006年11月	45.4%	35.3%	10.1%	－	54.6%	74.4	資本参加
2007年6月	50.0%	40.9%	9.1%	－	50.0%	82.2	増資　日本:台湾、各50%へ
2008年3月	56.1%	47.0%	9.1%	－	43.9%	82.2	台湾株主より持分譲受け
2008年8月	59.3%	50.2%	9.1%	－	40.7%	82.2	台湾株主より株式譲受け
2009年3月	76.6%	66.9%	9.7%	－	23.3%	100.0	増資引受
2009年6月	82.0%	72.3%	9.7%	－	18.0%	130.0	増資引受
2010年2月	82.0%	64.3%	9.7%	8.0%	18.0%	130.0	JFEスチール→丸一鋼管
2011年4月	87.0%	69.3%	9.7%	8.0%	13.0%	130.0	台湾株主より株式譲受け
2013年8月	90.2%	72.5%	9.7%	8.0%	9.8%	130.0	台湾株主より株式譲受け

【中国】 MMP社の事業拡大

【第3次中期経営計画の主要施策（中国）】

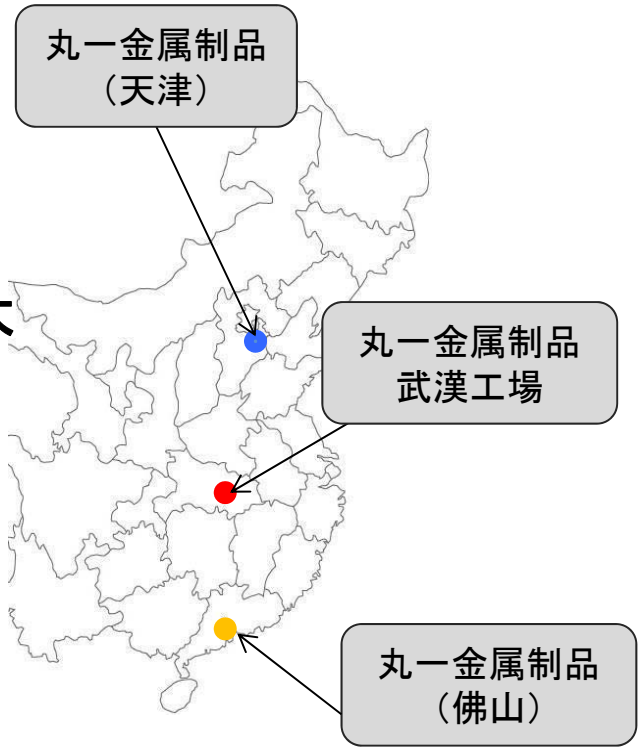
①日系自動車メーカーの生産拡大への対応

2013年6月　佛山で自動車向けの2.5インチミルを追加設置

②アルファメタル社との協働による部品加工事業の拡大

【武漢工場の概要】

所　在　地　：中華人民共和国湖北省武漢市華頂机電工業団地
敷地面積　　：約5,500㎡
工場完成　　：2012年3月
設備概要　　：切断機4台、面取機1台
投資金額　　：27,000,000RMB（約330百万円）




丸一金属制品（天津）有限公司


丸一金属制品　武漢工場


丸一金属制品（佛山）有限公司

【米国】 Leavitt/シカゴ工場　拡充計画

●建築用鋼管分野

2011年1月　W80（12インチ）ミル改造（US$12百万）
クイッククロール交換システムの導入
【ロール交換時間の短縮　6時間→3時間】

2012年1月　W50（5インチ）ミル更新（US$15百万）

●自動車用鋼管分野

2012年2月　2インチミル改造（US$3百万）

2013年4月　0．5インチミル導入(US$3百万）

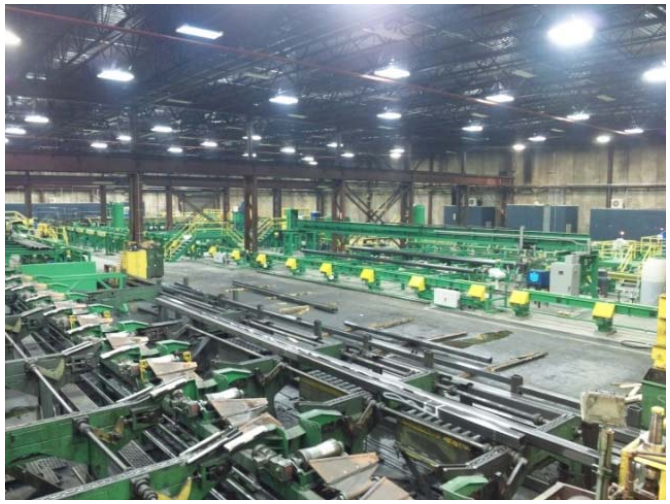
●APIラインパイプ分野　※ 2014年初に米石油協会規格（API）の認証取得予定

2013年8月　W80ミル改造（US$20百万）
約5，000トン／月の余剰能力で、ラインパイプを製造可能なラインに改造。
米国北東部のシェールガス開発でマーケット拡大を見込む。

建築用鋼管主体

↓ 分野の拡大

自動車用鋼管分野
エネルギー分野への進出



W80　12インチミル



0.5インチミル

【米国】 Leavitt/シカゴ工場　拡充計画②

【業績の推移】　　(単位:百万US＄)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2008年12月	229	14	13
2009年12月	68	▲ 11	▲ 10
2010年12月	68	3	3
2011年12月	94	4	4
2012年12月	107	▲ 1	▲ 2
2013年12月 見込	122	▲ 1	▲ 1
1 ～ 6月　実績	54	▲ 1	▲ 1
7～12月　見込	68	0	0



Leavitt社　航空写真

2013年7月
MKK・USA・インクを20百万US＄増資し、
その資金によりLeavitt社を20百万US＄増資

【株主の状況】

	MKK・USA・インク（丸一鋼管）	住友商事
2008年5月	60.0%	40.0%
2013年7月	74.7%	25.3%

【米国】 Maruichi American Corporation（MAC社）の業績

・株式の保有割合 （2013年3月現在）

丸一鋼管	：	53%
メタルワン	：	30%
丸一鋼販	：	8%
三菱東京UFJ銀行	：	5%
三井住友銀行	：	4%



MAC社　航空写真

【業績の推移】

(単位：百万US＄)

	売上高	営業利益	当期税前利益
2009年12月	41	0	0
2010年12月	47	2	3
2011年12月	65	5	5
2012年12月	69	3	3
2013年12月 見込	70	3	3
1 ～ 6月　実績	34	2	2
7～12月　見込	36	1	1

【メキシコ】 MMX社　自動車向け事業の立上げ

【MARUICHIMEX S.A. de C.V.社の概要】

場　所　　：メキシコAguascalientes州
　　San Francisco工業団地
設　立　　：2012年1月
資 本 金　　：US$1050万相当
株　主　　：MAC (60%)、MKK USA (20%)、
　　伊藤忠丸紅鉄鋼 (10%)、豊田通商 (10%)
工場敷地面積：30,000㎡　工場面積：6,000㎡
設　備　　：造管機1台、切断機4台(第1期)
完 成　　：2013年4月



MMX社　航空写真



MMX社　外観

【事業計画】

（単位：百万US＄）

	売上高	営業利益	当期税前利益
2013年12月　見込	4	▲1	▲1

※一部の客先に、2013年7月より出荷開始

【インド】 KUMA社の事業拡大

【第3次中期経営計画の主要施策(インド)】

①自動車向けステンレス鋼管での
圧倒的シェアの維持
②バンガロールに第二工場を建設



【業績の推移】

(単位:百万US$)

	売上高	当期税前利益
2011年3月	23	3
2012年3月	27	3
2013年3月	30	3
2014年3月 見込	34	3

【インドネシア】ISTW社の事業拡大

【第3次中期経営計画の主要施策（インドネシア）】

自動車向け鋼管事業の拡大

①日系自動車メーカーの進出本格化への対応

②鋼管現地調達ニーズへの積極的対応



ジャカルタ　新チカラン工場

【新チカラン工場の概要】

場　所	:インドネシア　ジャカルタ東部
投資額	:16億円
工場敷地面積	:50,000 ㎡
工場面積	:12,000㎡
設　備	:造管機1台、切断機
完 成	:2013年8月



新工場　オープンセレモニー

３．海外人材の早期育成（グローバル化の基礎づくり）

①本格化する海外展開に対応した、

（１）若手人材の積極的海外派遣。語学研修やトレーニーの海外派遣

（２）「海外で活躍できる」人材の育成

２０１３年４月　生産技術教育部長を任命

海外を含むグループ全社の鋼管製造のスキルアップを図るため新設

②現地人材の早期育成

（１）現地人材の早期育成、登用、技術移転の促進



第4次SUNSCO研修生
（2013年10月31日 詫間工場にて）



2013年度　海外研修
（2013年10月15日　SUNSCOホーチミンにて）

4. 株主重視の資本政策の継続

高い株主還元率の維持

(( )内は一株当たり配当:円　単位:百万円)

	中間配当額	期末配当額	年間配当額	当期純利益	自社株買 株数/金額	配当性向	総還元率
2011年3月期	(15.00) 1,296	(31.50) 2,722	(46.50) 4,018	9,062	500,000 株 846	44.3%	53.7%
2012年3月期	(20.00) 1,704	(28.50) 2,428	(48.50) 4,133	7,453	1,200,000 株 2,352	55.5%	87.0%
2013年3月期	(20.00) 1,694	(41.50) 3,516	(61.50) 5,210	10,658	500,000株 763	49.0%	56.0%
3年間合計	4,694	8,666	13,361	27,173	2,200,000 株 3,961	49.2%	63.7%

【自己株式取得】

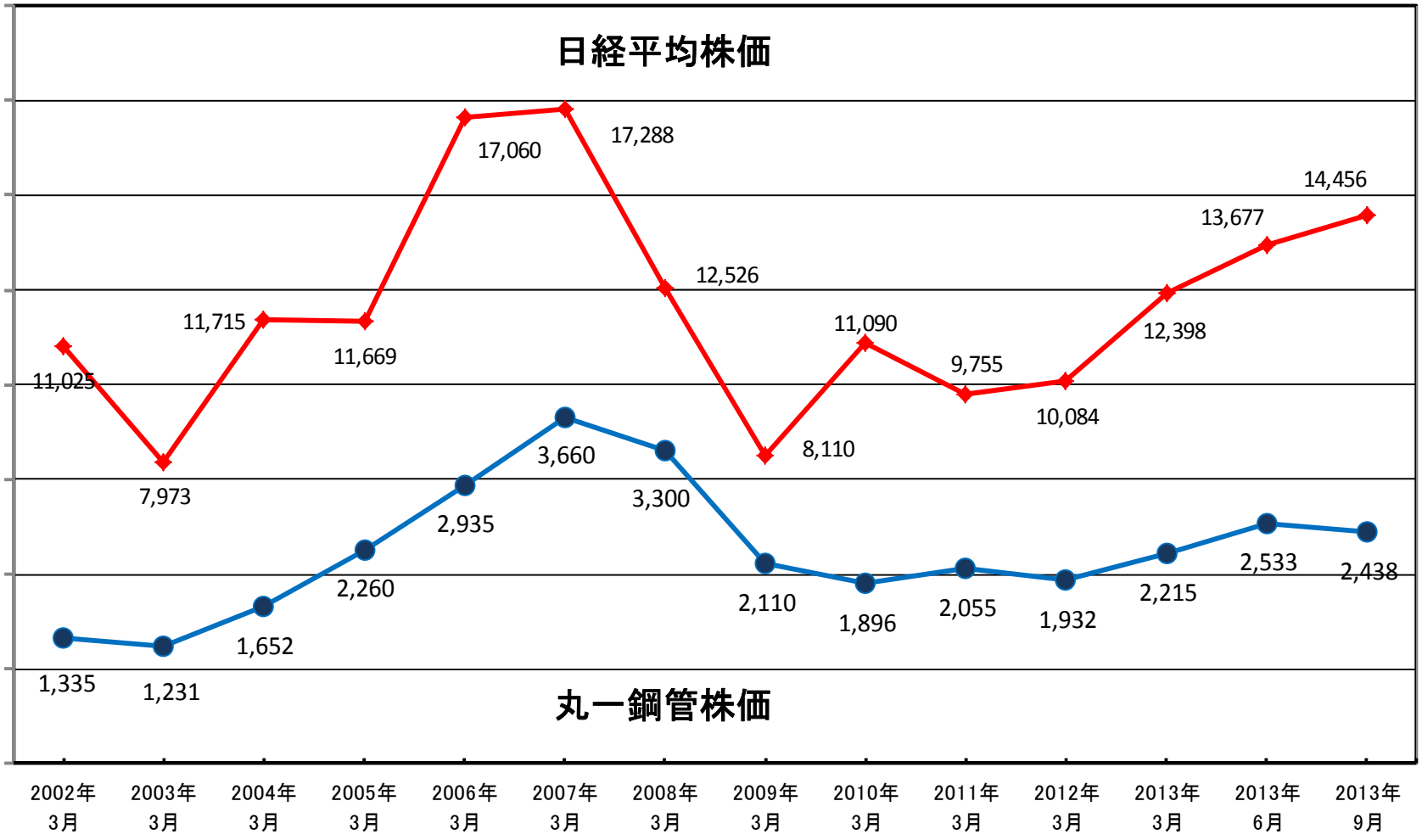
2012年8月8日から　50万株取得　7.6億円実施

【配当政策の見直し】

平成25年3月期から、個別損益計算書における経常利益の62.2%を当期利益とみなし、
その(みなし当期利益)40%相当額(最低年間25円)
⇩ UP　⇩ UP
50%相当額(最低年間30円)へ変更

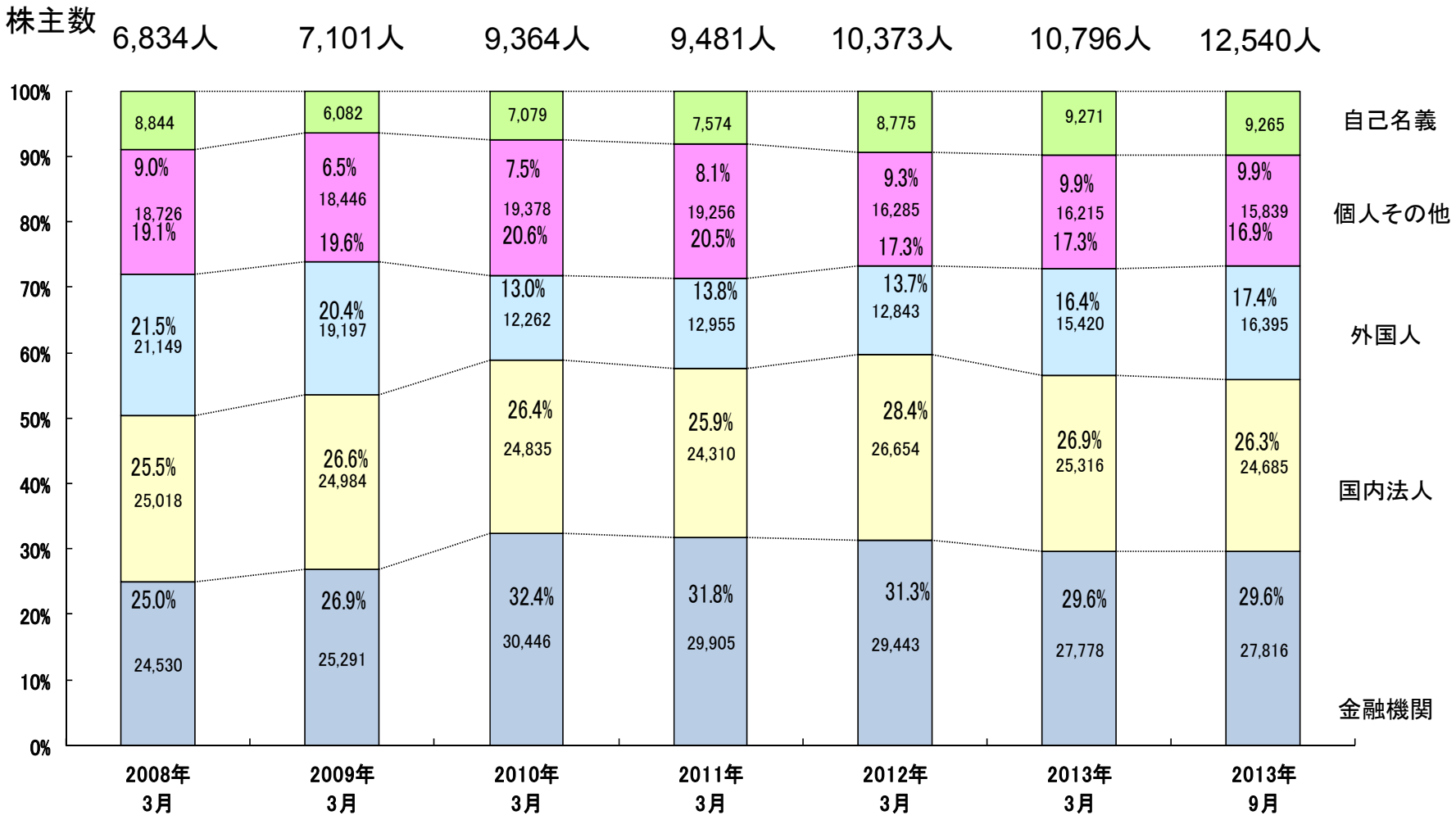
（参考）株価の動き　月末終値ベース

（単位：円）



(参考)株主構成変化

(数値は株数)
(単位:千株)



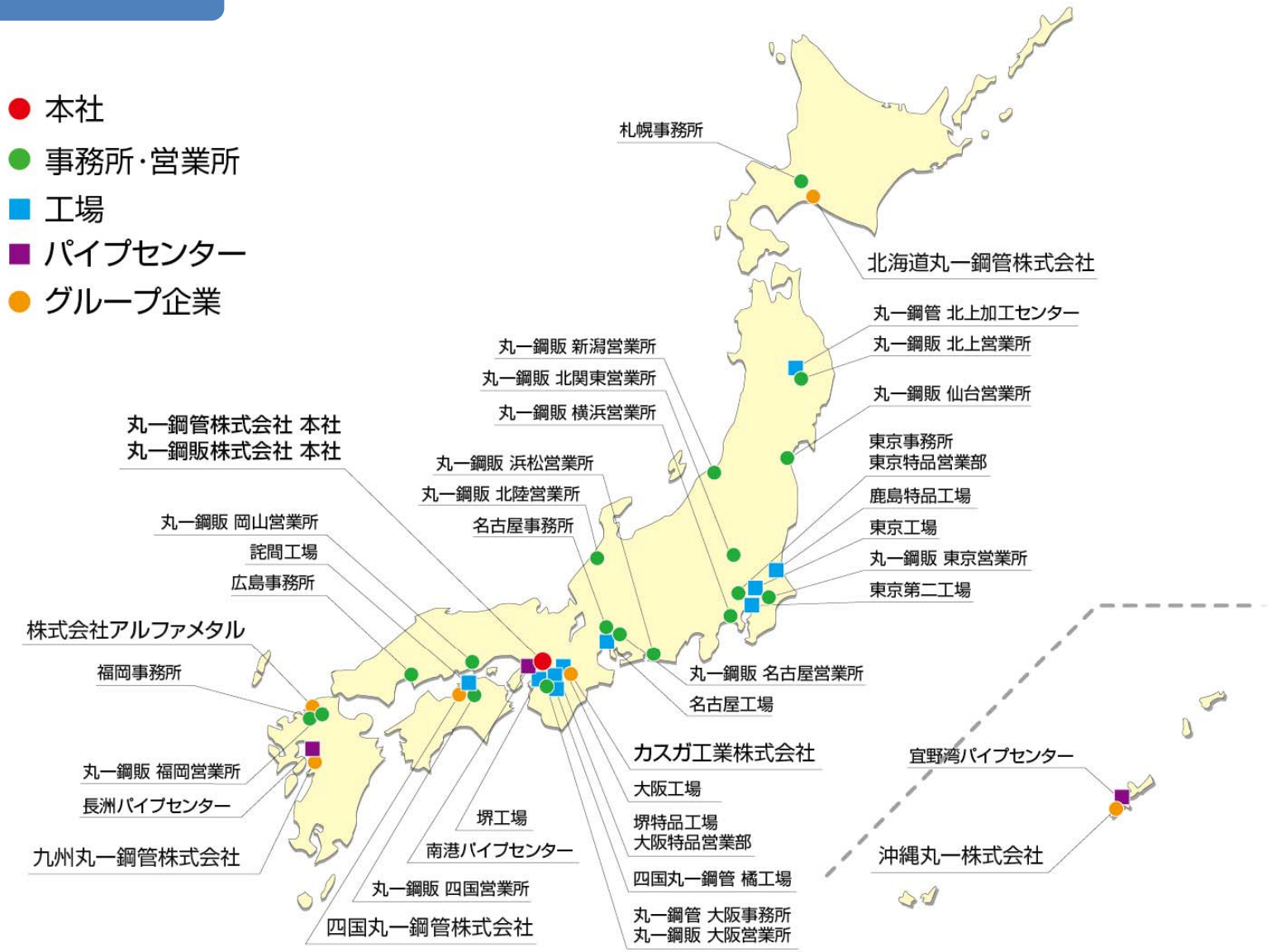
2005年10月より単元株を100株へ引き下げ
2008年4月　自己名義株のうち、426万株を消却

Ⅴ. 丸一グループの特色

1. 経営理念

- わが社は、パイプのリーディング･カンパニーとして、すぐれた製品を供給し顧客の信頼に応えることにより、社会に貢献することを使命とします。
- わが社は、株主、取引先、従業員、地域社会等、すべてのステークホルダーを尊重します。
- わが社は、従業員一人一人の知恵と情熱と行動により、製品の信頼性、技術力、販売力を向上させ、将来に向けての成長エネルギーと新しい価値の創造を推進します。
- わが社は、すべての従業員にとって、その人生を託すにふさわしい、素晴らしい、夢にあふれた会社であり続けます。

2. 国内生産・販売体制


本社
事務所・営業所
工場
パイプセンター
グループ企業
札幌事務所
北海道丸一鋼管株式会社
丸一鋼管 北上加工センター
丸一鋼販 北上営業所
丸一鋼販 新潟営業所
丸一鋼販 北関東営業所
丸一鋼販 横浜営業所
丸一鋼販 仙台営業所
丸一鋼管株式会社 本社
丸一鋼販株式会社 本社
丸一鋼販 浜松営業所
丸一鋼販 北陸営業所
名古屋事務所
東京事務所
東京特品営業部
鹿島特品工場
東京工場
丸一鋼販 東京営業所
東京第二工場
丸一鋼販 岡山営業所
詫間工場
広島事務所
株式会社アルファメタル
福岡事務所
丸一鋼販 名古屋営業所
名古屋工場
カスガ工業株式会社
大阪工場
堺特品工場
大阪特品営業部
四国丸一鋼管 橘工場
丸一鋼管 大阪事務所
丸一鋼販 大阪営業所
宜野湾パイプセンター
沖縄丸一株式会社
丸一鋼販 福岡営業所
長洲パイプセンター
九州丸一鋼管株式会社
堺工場
南港パイプセンター
丸一鋼販 四国営業所
四国丸一鋼管株式会社

3. 海外生産拠点

アジア


KUMA社（インド）


丸一金属制品
武漢工場（中国）


丸一金属制品（天津）
有限公司（中国）


丸一金属制品（佛山）
有限公司（中国）


SUNSCO（ハノイ）社
（ベトナム）


SUNSCO社
（ベトナム）


J-スパイラル社
（ベトナム）


ISTW社ジャカルタ工場
（インドネシア）


ISTW社セマラン工場
（インドネシア）

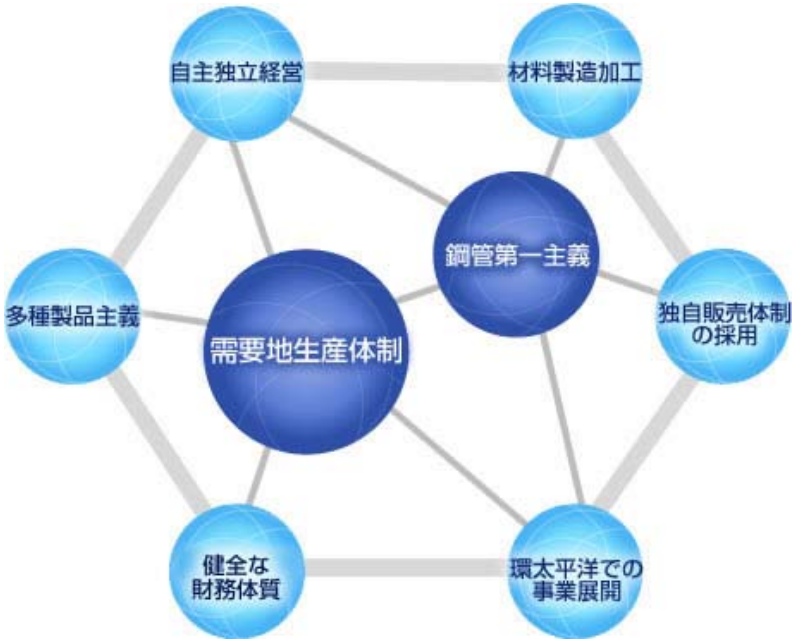
米州


MAC社
（アメリカ）


Leavitt社
シカゴ工場
（アメリカ）


MARUICHIMEX社
（メキシコ）

4. 特色



需要地生産体制

関連会社を含め北海道から九州まで 12 工場を展開しています。このことはユーザーへのサービス向上をはじめとして、流通コストの削減にも大きく貢献しています。

多種製品主義

ユーザーの多様なニーズに対応するために、多種製品を提供しています。

材料製造加工

詫間工場で加工・処理された最適品質の鋼帯が、丸一グループの各工場で使用されています。

自主独立経営

いずれの系列にも偏らない自主独立の経営を行っているため、仕入・販売先に関して制約を受けることはありません。従って常に最大利益を追求する事業展開が可能となっております。

健全な財務体質

健全な財務体質が、強力なバックボーンとなっています。

鋼管第一主義

鋼管及びその周辺業務を展開しています。

独自販売体制の採用

製品販売は「総合商社」「丸一鋼販」の2ルートを通じて行っています。丸一鋼販は自前倉庫を持ち、在庫販売も行っています。このシステムにより、顧客のニーズや需要動向・価格動向がビビッドに丸一鋼管に吸い上がるため、市場に敏感な経営戦略を常に立案することができます。

環太平洋での事業展開

ホットコイルや製品の需給市況等の潮流が把握しやすくなっています。

5. 沿革

1926	大正15年	自転車部品製造の丸一製作所を発足
1935	昭和10年	自転車鋼管の製造を始める
1940	昭和15年	丸一鋼管工場と改称
1947	昭和22年	株式会社丸一鋼管製作所を設立
1956	昭和31年	大阪出張所を改組し、丸一鋼販株式会社を設立
1957	昭和32年	大阪工場を新設
1958	昭和33年	東京事務所を開設 米国アビー・エトナ社製の電気溶接製管設備を輸入し、電縫管メーカーに転換
1960	昭和35年	丸一鋼管株式会社と商号変更 名古屋事務所開設
1961	昭和36年	東京工場を新設
1962	昭和37年	東京・大阪両証券取引所市場第二部に上場
1964	昭和39年	東京・大阪両証券取引所市場第一部に上場 福岡事務所を開設
1965	昭和40年	堺工場を新設
1966	昭和41年	名古屋工場を新設（昭和59年現名古屋工場へ統合） 広島事務所を新設
1970	昭和45年	北海道丸一鋼管株式会社を設立 札幌事務所を開設
1971	昭和46年	インドネシア ISTW社を設立
1972	昭和47年	特品工場を新設 大阪事務所を開設
1973	昭和48年	東京工場第二工場を新設
1974	昭和49年	四国丸一鋼管株式会社を設立 九州丸一鋼管株式会社を設立
1977	昭和52年	名古屋第二工場（現名古屋工場）を新設
1978	昭和53年	本社を大阪市西区北堀江の現在地に移転
1978	昭和53年	アメリカ　MAC社を設立
1989	平成元年	詫間工場を新設
1995	平成7年	鹿島特品工場を新設
1998	平成10年	北海道丸一鋼管株式会社の札幌工場を苫小牧工場に統合
2000	平成12年	新広島事務所・倉庫完成
2001	平成13年	詫間工場に焼鈍設備を新設
2002	平成14年	東京第二工場新倉庫を建設
2003	平成15年	名古屋工場内に物流倉庫及び加工工場を増設
2005	平成17年	JFE大径鋼管の照明柱事業を継承
2006	平成18年	名古屋工場寸法切り倉庫棟竣工 中国　MMP社操業開始 東洋特殊鋼業へ出資 ベトナム　SUNSCO社へ出資
2007	平成19年	名古屋工場0．5インチミル増設 堺工場　第6工場の新設　設備稼働 詫間工場　メッキ炉改造工事　酸洗ライン トリミング設備設置
2008	平成20年	SUNSCO社・LEAVITT社 連結子会社化 堺工場リニューアル工事完了
2009	平成21年	インド　KUMA社　子会社化 セイケイ　堺製造所　稼働
2010	平成22年	アルファメタル　連結子会社化 SUNSCO社　16インチミル増設 SUNSCO社　HANOI社　操業開始 ベトナム　J・スパイラルスチールパイプ社へ出資
2011	平成23年	中国　MMP天津社　稼働 東京第二工場　ステンレス鋼管工場を新設 堺特品工場　第2工場を増設
2012	平成24年	中国　MMP社　武漢工場新設 東京第二工場　第3工場を新設 メキシコ　MARUICHIMEX社設立
2013	平成25年	詫間工場　メガソーラー発電所　稼働

6. 企業集団の状況

（26社 ）

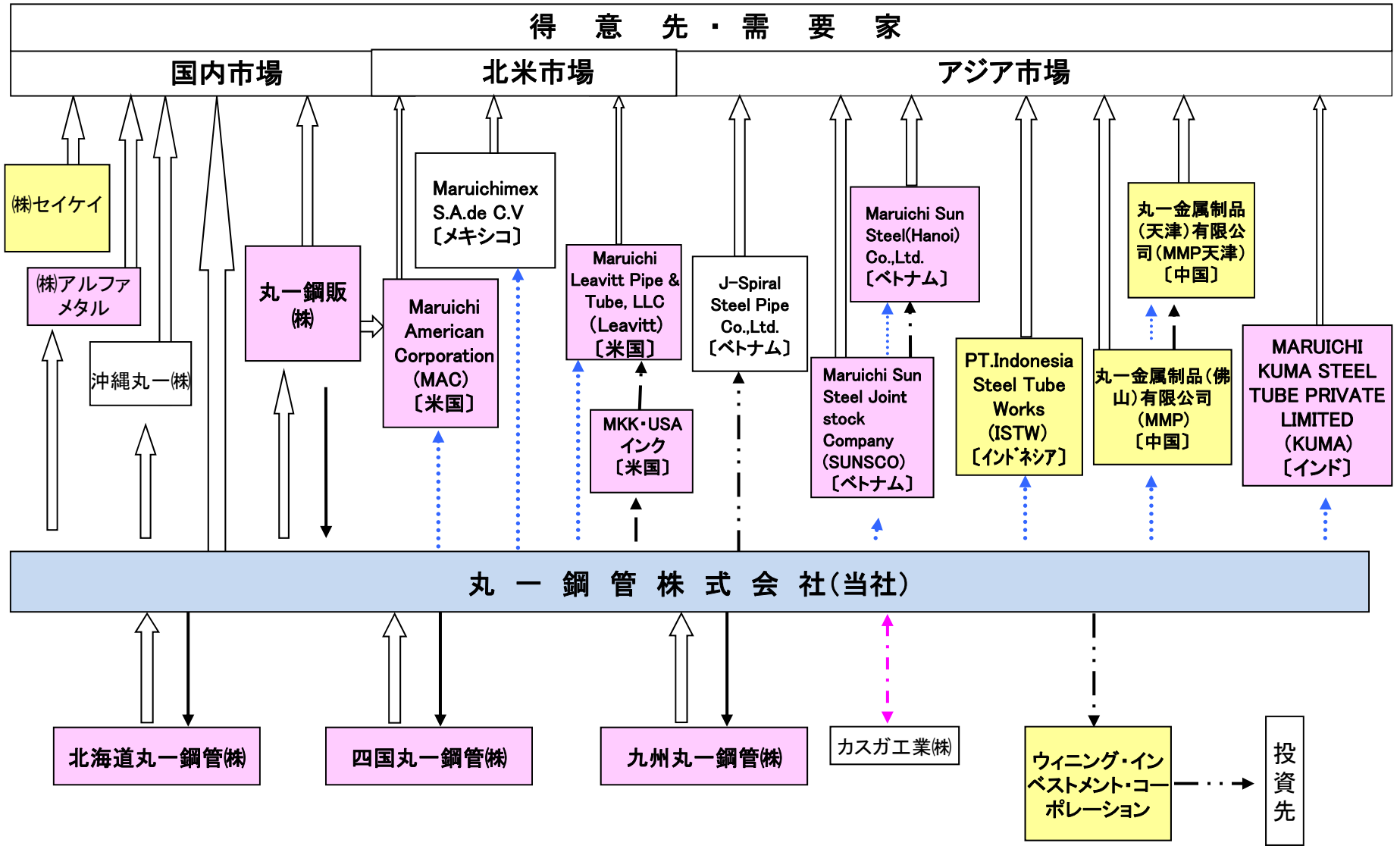
連結子会社 （11社 ）

持分法適用関連会社 （5社 ）

製　品 ⇦　投　資 ←・・—

原材料 ←　加　工 ←・—・

技術指導 ←・・・・



（参考資料） 第3次中期経営計画
主要施策（国内）

1.<u>国内事業の更なる効率化推進</u>		
①国内生産体制の再構築	①東京工場の東京第2工場への集約 ②国内余剰設備の海外への移設 ③設備・人員・人材の適正な配置	P.29 ～P.30
②国内営業体制の強化	①ｸﾞﾙｰﾌﾟ販売力の強化 ②震災復興需要への積極的取組 特品事業部：仙台特品課開設(12年4月) 丸一鋼販：岩手県北上営業所開設(12年8月) 関東地区でのｺﾗﾑ在庫、切断開先加工、 販売強化	
③新規分野の展開	①ｽﾃﾝﾚｽ鋼管分野への参入(東京第2工場のｽﾃﾝﾚｽ鋼管ﾗｲﾝをﾏｻﾞｰﾗｲﾝとして海外事業を支援) ②太陽光発電への取り組み ﾒｶﾞｿｰﾗｰ発電事業化検討(詫間工場) 及び架台加工・工事への参画 ③東洋特殊鋼業を通じた異型管分野への進出	P.31 ～P.34
④省ｴﾈ、CO_2排出量削減、 災害に強い体制の構築	①節電、CO_2削減への積極的対応、 液状化・津波対策	

主要施策(海外)①

2)高成長が期待できるｱｼﾞｱ地区への投資の集中、 海外生産ｼﾌﾄが本格化する自動車分野の強化、 ｴﾈﾙｷﾞｰ関連製品の生産開始により、 海外売上の拡大と収益力の強化		
①ﾍﾞﾄﾅﾑ:SUNSCO鋼管、鋼板事業の大幅な拡大	①16ｲﾝﾁﾐﾙによるAPI事業の本格的展開、ﾍﾞﾄﾅﾑ国内の建材需要の創造	P.35 ～P.36
	②第2CGL/CCLの立上げの成功	
	③安定操業による設備稼働率の向上及び生産量の拡大	
	④ﾊﾉｲの二輪車向け業務の本格化による黒字化及びｽﾃﾝﾚｽ鋼管の現地生産開始	
	⑤JIS取得による日系企業向け鋼管・鋼板製品の生産販売拠点としての役割	
②中国:MMPの事業拡大	①日系自動車ﾒｰｶｰの生産拡大への対応	
	②ｱﾙﾌｧﾒﾀﾙ社との協働による部品加工事業の拡大	P.37
③米州:Leavittの自動車、API向け事業の展開	①Leavitt:建築用構造鋼管中心から、自動車・API用鋼管への進出による経営基盤の強化と収益力の向上	P.38 ～P.39
MACの新たな事業拡大	①MAC:設備更新。西海岸でのｼｪｱ拡大	P.40
ﾒｷｼｺでの自動車向け事業立ち上げ	①ﾒｷｼｺでの自動車向け鋼管工場の立上げ(Maruichimex)	P.41

主要施策(海外)②

④ｲﾝﾄﾞ:Chennai工場の立ち上げ、自動車向け普通鋼鋼管事業の開始	①自動車向けｽﾃﾝﾚｽ鋼管での圧倒的ｼｪｱの維持 ②日系自動車ﾒｰｶｰ向け普通鋼鋼管製造による事業分野の拡大	P.42
⑤ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ:自動車向け鋼管事業の拡大	①日系自動車ﾒｰｶｰの進出本格化への対応 鋼管現地調達ﾆｰｽﾞへの積極的対応	P.43
⑥日系自動車ﾒｰｶｰの海外ｼﾌﾄに対応した新たな展開の検討	①中国/ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ/ｲﾝﾄﾞでの体制拡充と米国での自動車向け生産の開始、ﾒｷｼｺへの進出 ②ｱﾙﾌｧﾒﾀﾙの部品加工技術の海外事業での活用 ③国内外一体となった営業体制 海外進出情報の早期把握と海外現地法人との協働による海外取引の獲得 ④自動車向けｽﾃﾝﾚｽ鋼管事業の新規展開 ⑤鋼管事業での“Maruichi”ﾌﾞﾗﾝﾄﾞの活用:Leavitt/SUNSCOの社名に“Maruichi”を追加検討	
⑦東洋特殊鋼業の海外事業強化	①中国事業の支援・強化及び他海外地域での展開検討	
⑧海外現地法人の管理強化	①海外現地法人の管理ｼｽﾃﾑの早期完成(SUNSCO、KUMA) ②KUMA、ﾒｷｼｺ新会社の連結子会社化 ③海外現地法人からの配当・ﾛｲﾔﾘﾃｨｰによる本社への収益還元	
⑨ｵｰｽﾄﾗﾘｱ/ATM社とのｱﾗｲｱﾝｽ強化		

主要施策（その他）

3）海外人材の早期育成(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化の基礎づくり) ①本格化する海外展開に対応した人材の早期育成	①若手人材の積極的海外派遣。語学研修やﾄﾚｰﾆｰの海外派遣 ②「海外で活躍できる」人材の育成	P.44
②現地人材の早期育成	①現地人材の早期育成、登用、技術移転の促進	
4）株主重視の資本政策の継続	①高い株主還元率の維持	P.45

丸一鋼管グループの方向性について

1．今後も株主重視の経営を推進し、株主価値の最大化に向けて不断の努力を続けて参る所存です。そして、我々は、鋼管業界においてグローバルで見て質・量共に世界でもトップと言える企業集団へ成長発展を続けて参ります。

2．今年度は第3次中期経営計画の2年目になります。大きく変化し続ける国内外の経営環境に、タイムリーかつフレキシブルに対応することで国内外での力強い成長を目指し、グループ一丸となって取り組んで参ります。

注意事項

本資料の計画・見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものです。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これらの計画・見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。